

令和4年1月11日

大阪府知事 吉村 洋文 様

大阪維新の会 大阪府議会議員団  
代 表 森 和 臣  
幹 事 長 杉江 友介  
政務調査会長 笹川 理  
総 務 会 長 西林 克敏

## 新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望(第14弾)

新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)の急激な感染拡大により、大阪府において、先週末、警戒信号「黄色」が点灯された。

このような状況の中でいま必要なことは、オミクロン株の特性や第5波までの教訓等を踏まえ、十分な備えを講じておくことと、感染症の重症化を防ぎ、医療現場や保健所の業務ひっ迫(崩壊)を防ぐこと、そして、府民一人ひとりが感染予防対策を徹底していただくことを強くお願いすることだと考える。

このような観点から、下記の事項において要望する。

### 記

- 1 新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐという観点から、ワクチン接種3回目を希望する対象の府民が、一日でも早く接種できるよう、市町村への支援等を講じ、府の大規模接種会場での接種も進めること。
- 2 新型コロナウイルス陽性の自宅療養者に対するオンライン診療や薬の速やかな配送など、希望する者が確実に利用でき、重症化しないよう、医療提供体制を十分に整えること。
- 3 コロナ禍の長期化により、心の健康が不安定になったり、失業により収入や住居を失う者が多くなってくることにより、自殺を考えてしまう府民が増えることが考えられる。このような状況に追い込まれた府民を一人でも多く救うことができるよう、心の相談体制をより一層充実させること。
- 4 府立高校・支援学校等において、臨時休校となったとしても、児童生徒に配布している一人一台タブレット等によるオンラインを活用し、学びを止めることのないよう、各学校において最大限に取り組むこと。また、高校入試や就職面接等において、コロナ陽性者や濃厚接触者の受験機会が失われることがないよう、可能な限り努めること。
- 5 まん延防止等重点措置や緊急事態措置を国へ要請する場合は、医療ひっ迫状況を考慮した重症者数のシミュレーション等による判断基準をもって、適切なタイミングで行うこと。その際には、府民への十分な説明を行うこと。